

人物登場

天体観測を通して



小池 栄一さん
釈迦内宇土肥・57歳

の良い日にはクラブ員と一緒に観測をしています。この観測所には、主鏡部二五センチと二〇センチ、一〇センチの三基の天体望遠鏡が取り付けられており、県内でも屈指の観測所となっています。

「二五センチの天体望遠鏡だと、三千万から四千万光年先の星雲まで見えるんです。星雲の渦巻きや、この目で見たときは本当にうれしかったですよ。観測を始めたころですが、目的の天体を正確に捕らえたときは大変興奮しました。」

最近では、釈迦内公民館や小坂町のこども郷土館での「星空観察会」などの講師としても出かけている小池さんです。

「ただ星がきれいだからと見ているのではなく、天体観測を通して何かを学んでほしいと思います。天体は無言で私たちに貴重なことを教えています。天体を観測して

いれば、地球は宇宙の中心でもないし、地軸が宇宙に対して真っすぐでもないことが分かります。自己中心的な考え方や人間中心の生き方が大きな間違いであるというのを、宇宙が教えてくれているような気がするんです。」と話していました。



▲小池さんが撮影した「球状星団M13」

ちびっこギャラリー おとうさん



おとうさんみたいなの、かっこいい警察官になりたいな。



さがまさきちゃん



いのまたりちゃん



わたし、ケーキが大好きだから、大きくなったらケーキ屋さんになるんだ。



ぼくは、消防士になって火事を消すんだ。



かいもりしんやちゃん

向陽幼稚園

たずね歩き

初七日山釈迦堂

釈迦内の実相寺境内に初七日山釈迦堂があります。この釈迦堂には、鎌倉執権最明寺入道時頼（北條時頼）と、その愛妾唐糸の伝説があり、時頼が刻んだと言われる「釈迦如来像」が祀られています。

この釈迦像を、津軽の住人が盗み、矢立峠を越えようとしたとき、にわ

かに重くなって運べなくなりました。盗人はしょうがなく山を下って釈迦内に戻ろうとすると軽くなった、という話も伝えられています。



市老連

釈迦内支部

大館市老人クラブ連合会 釈迦内支部は、スポーツ活動が盛んです。市の老人スポーツ大会では、常に優勝が準優勝を飾っています。

また、ゲートボールや老人バレーボール（ビニールボールを使用）でも、市内はもとより、県内にもその名をとどろかせています。

支部長の太田三男さん（釈迦内宇山神台）は「体を動かすことが、老いを防ぐのには一番です。私たちの支部では、スポーツばかりでなく、学校や神社、お寺、道路などの清掃活動もやっています。昭和五十六年から始めましたが、朝の空気を吸っての作業は、とても気持ちがいいですよ。」と話します。

獅子ヶ森には、市老連薬草園があります。その管理・作業を行っているのが釈迦内支部の皆さんです。「薬草園では、十八種類の薬草を



▲薬草園で作業をしている釈迦内支部の皆さん